

Close up

8年ぶりの暈で16強に

かつてこの大会の65kg級で優勝した（25回大会）こともある内村直也（大阪産大教＝MAR福岡柔道クラブ）が8年ぶりに42歳でカムバック、見事73kg級で16強に入った。若い頃の背負い投げと小内刈りは健在で若い選手を3人危なげなく倒した。4戦目で25歳の澤田悠（国士館柔道クラブ）に「指導2」で敗れたが「まあまあの出来」と満足そうだった。

1994年の講道館杯にも優勝したことがあり、筑波大時代から業師で鳴らした。大学院時代から近藤興産、水戸葵陵コーチ、タイ国のナショナルチームのコーチ等々を歴任し、05年から大阪産大の教員になった。「この大会に出るので10kg以上減量した」という内村。「来年もチャンスがあれば…」出たような笑顔だった。



8年ぶりにカムバックした42歳の内村は、16強まで勝ち進んだ